デイサービスでの業務効率化ソフトラクウエアとインカムの導入について

令和元年11月26日(火) 鶴岡市社会福祉協議会 老人デイサービスセンターなえづ

老人デイサービスセンターなえづ(概要)

平成8年3月 設立 老人デイサービスセンター 40人 認知症対応型通所介護 10人

現在

◎営業日 日~土(年間休業日5日)

◎営業時間 9:00~16:30

◎利用定員 通所介護 40人・認知症型通所介護 10人

計50人 大規模型

※認知症加算・機能訓練加算あり

◎1日の利用者 約40人

◎1日の職員数 15~17人

課題

- 1、施設が広いため、職員の動線が長い
- 2、職員の情報共有が難しい







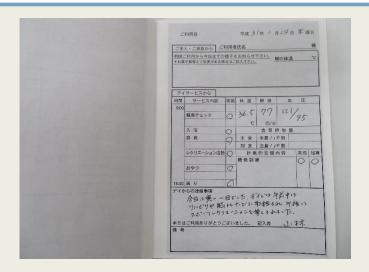
課題

3、手書きの作業が多い



- ・ご家族への連絡事項
- ・バイタル
- ・入浴
- ・食事量
- 機能訓練

手帳への記入が全て手書きの作業であった。



ラクウエアとインカムの導入

ラクウエアとは

- ・デイの現場が開発した、デイ専用のアプリ
- タッチパネルで簡単に入力、操作を極力シンプルに



インカムとは

- ・ヘッドホンとマイクが一つになっている機器通信、通話用の機器として使用
- ・ラクウェアと一緒に使用することで業務の効率化を図れる



導入効果

動線の短縮

利用者が到着すると血圧や体温を看護師が測定し正常 値であれば、浴室まで行き入浴チェックシートに許可の印を つけに行っていた。



看護師はデイホールから浴室までの移動を頻繁に行わなくてはならなかった。



ラクウエア導入により浴室への移動がなくなった





看護師が血圧等測定し、入浴可能となればラクウエアの画面にタッチ操作で許可を出すことができる。

浴室前のパソコンに表示されたラクウエアに入浴許可が反映されるので、介護員はそれを見て入浴に誘導する。

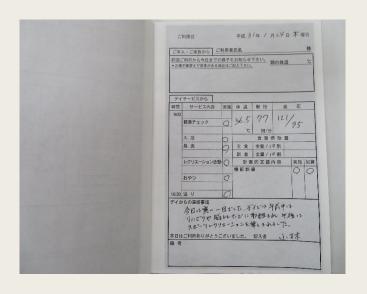
情報の共有と動線の短縮



- 共有すべき情報は、インカムを通じて他の職員と瞬時に共有できるようになった。
- 連絡のための移動をな くすことができた。

手書き作業の削減

以前は利用者様やご家族との連絡に連絡帳を使用していたが、手書きのため、手帳に様々な情報を記載するのに多くの時間を費やしていた。





ラクウエアに情報を集約できる













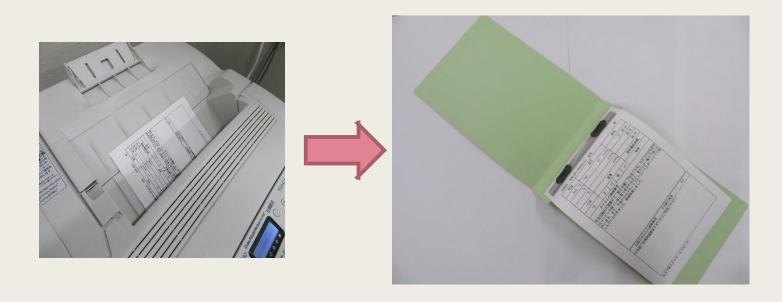


- ・ご家族への連絡事項
- ・バイタル
- ・入浴
- ・食事量
- •機能訓練

以前は手書きであった作業が データとしてラクウエアに集 約される。

手書き作業の削減

集約された情報はプリントアウトされ家族へと提供される。



利用者への共通の連絡事項などは一括して入力できるため、同じ内容を何度も書く必要がなくなった。

ラクウエアとインカムの導入効果まとめ

- *ラクウエアで利用者情報を一元管理可能となり事務作業が軽減できた。
- *インカムを使用することでタイムリーな情報を全職員が速やかに共有できる。
- *後回しになっていた情報伝達がインカムによりすぐに伝えられ伝達漏れが少なくなった。
- *インカムにより職員を探す手間と時間の軽減につながった。
- *日中の手書き作業がなくなり、利用者の見守りなどに集中できる。
- *機能訓練の実施記録からデータの出力まで、ラクウエアで一括して管理できるため大幅に作業時間が短縮できた。

事務作業の効率化が図られ、ご利用者様と の関わりの時間が増えてきた

導入後の課題

◎ラクウェアの改良

ラクウエアのアプリがサービス種別に合わせ仕様に対応されていない 複数のパソコンから(複数の職員が)ラクウエアに同時入力ができない 等の問題点がまだある。

◎既存のシステムとのマッチング

今まで使用してきたソフトは介護記録から請求まで一貫して利用できていた。 しかし、ラクウェアとの同期はとれないため別々に使用することになる。

今後の対応

◎新しいツールに対する職員の意識改革 導入時、新しいツールに戸惑いを感じる職員もいて、パソコンに触るの も怖い等の話もあり、慣れるのに時間を要したが、研修等を実施して 意識改革を行っていきたい。

◎ ラクウエアには複数のアプリがあり、全ては使いこなせていないため、 今後それらのアプリを活用して、更なる作業効率化を図れないか検討 し作業効率向上がより質の高いサービスにつながるようにして行きたい。

ご清聴ありがとうございました。

